

3 参議院議員通常選挙の管理執行状況

(1) 選挙事務室の体制等について

ア 通常時の体制

(ア) 選挙事務室の開設期間

平成19年6月20日(水)～平成19年7月31日(火)

(イ) 選挙事務室開設場所

柏崎市役所第二分館2階第2会議室

(ウ) 期日前投票所の開設場所

- a 柏崎市期日前投票所 柏崎市役所第二分館2階第2会議室
- b 高柳期日前投票所 高柳町事務所1階老人研修室
- c 西山期日前投票所 西山町事務所1階住民相談室

(エ) 職員体制

選挙事務室の開設期間中は、他部署からの応援職員及び非常勤職員を採用し、選挙事務を行うこととしている。

業務係名	人数	選管職員	他課応援職員	非常勤職員	2町事務所職員
総務係	3	3			
庶務係	4	1	3		
期日前・不在者 投票・名簿係	12	1	5	6	
公営係	2		2		
高柳期日前投票所	5			1	4
西山期日前投票所	6			1	5
合計	32	5	10	8	9

イ 地震発生時の状況(本庁舎・第二分館の状況)

地震当日は選挙公示5日目の祝日。朝から期日前投票者が来庁、幸いにして地震発生時には期日前投票者は1人もいなかった。

選挙事務従事者は全員床に投げ出され、起き上がることもできず身を伏せるのが精一杯の状況であった。

揺れの収まるのを待って、専任職員2名を残し一時屋外避難。庁舎脇の自家発電室からは黒煙、商店街方面の上空は家屋倒壊の土煙がもうもうと立ち上がっていた。

余震の心配もあったが30分後に室内へ。投票箱、パソコン機材確認、散乱した室内を後片付け11時30分に再開した。

発災直後は事務室の復旧、関係施設の確認作業等で回りが全く見えなかった。

気が付くと本庁周辺は騒然、人と車でパニック状態。空には何機ものヘリコプターが旋回、災害の大きさはその後のTVで知って驚いた。

第二分館（柏崎市期日前投票所）

- ・建物、進入路等に大きな亀裂（ベニヤ等で応急修理）
- ・エレベータ損壊（投票所２階；車椅子等は人力で対応）

町事務所（高柳・西山期日前投票所）

- ・建物被害軽微（職員災害復旧動員、投票立会人確保困難）

閉鎖の申出 被災直後、２町事務所の期日前投票管理者等から投票所の閉鎖の申し出があったが、とりあえず継続を指示。

近隣市町村の対応について情報収集（刈羽村等閉鎖確認）

ウ 地震発生後の体制

（ア）期日前投票所２箇所の閉鎖

被災後、市選挙管理委員会委員長及び新潟県選挙管理委員会と協議を行い、翌日（１７日）から高柳及び西山期日前投票所を閉鎖とし、柏崎市期日前投票所の１箇所だけを続けて開設（従事者１１人の減）することとした。

高柳及び西山期日前投票所の事務従事者は、災害応急対策業務に従事。

選挙事務室と高柳・西山期日前投票所との通信回線（電話、イントラ回線）は、断絶することなく利用が可能であったが、災害の応急対策を最優先とした。

（イ）職員体制

選挙事務室への応援職員のうち、ライフライン（ガス、水道、下水道、建築住宅）関連を業務としている職員については、所属部署に復帰させ、災害応急対策業務に従事することとした。

なお、これに伴い選挙事務従事者数が減少するが補充は行わないこととし、残りの職員で業務を再割振りすることにより対応した。（従事者３人の減）

今回の中越沖地震による、選挙管理委員会委員及び選挙事務の従事職員の身体等における被災はなかった。

(2) 選挙事務の執行について

ア 選挙事務の見直し等について

通常の選挙事務を執行する人員に比して、少人数となること及び災害発生に伴い新たな業務が想定されることから業務の見直しを行う必要が生じた。

(ア) 新たな業務として想定される、次の項目を中心に対応することとした。

- a 投票会場及び開票所となる各施設の安全確認
- b 投票会場は、主として小学校及びコミュニティセンターとしているが、地震発生に伴い避難所として自動開所となることから、避難所施設において、投票事務が行えるかどうか確認する必要が生じた。
- c 災害復旧期間が数ヶ月続く見込みの中で、約2週間後に選挙事務従事者の確保ができるか心配された。
- d 業務が進む中で、想定できない事項が発生することも予想される。

(イ) 通常業務の中での見直し項目としては、公営系の業務を対象とした。

これは、担当者2名としていたが2名ともガス水道局の職員であることから、早急に本業に復帰する必要が生じたためである。

公営系の主な業務としては、

- a 個人演説会
 - b 啓発事業
 - c ポスター掲示場の確認及び違反ポスター等の対応
 - d 選挙公報の配布
 - e 投票会場への使用物品等の搬入・搬出
- である。

イ 新たな業務への対応

新たに発生した業務については、総務系の担当とし3名で対応をすることとした。

また、公営系の業務については、事務室を開設してから26日が経過していたことから、大半の業務は完了しており、残された人員での対応が可能であった。

以下、それぞれの業務について記述をする。

(ア) 投票会場及び開票所となる各施設の安全確認

投票所となる会場の大部分が避難所となることから、安全確保については情報として入手していたが、施設の状況(被災状況・避難所としての使用状況)については総務系の2名で行った。

調査の方法として、

- a 電話にて施設管理者に照会 37箇所
- b 現地へ赴き施設管理者に確認 22箇所

結果として、

建物被害が1箇所、避難所との競合が29箇所。30投票所において何らかの対応が必要となった。

また、開票所となる総合体育館の被害状況として、メインアリーナ（開票会場）は天井の一部損壊、壁等の一部崩落、また照明関係では、漏電・照明器具損壊等で応急修理が不可能な状況であった。

サブ体育館については、被害が軽微であったことから全国各地からの応援部隊の宿舎に使用することとなり、開票所としての使用は不可能な状況であった。

（イ）投票会場の協議

被災・避難所としての利用などにより、投票所投票会場としての適否について、次の事項を中心に考えることとした。

なお、投票会場を変更するような事態になった場合には、既に告示・広報及び入場券が発送されていることから、市民への周知について徹底することを確認した。

基本的に会場はできるだけ変更しないこと。

そのために、

- ・避難所となっている体育館以外の部屋、スペース等を活用する。
- ・避難所としての機能を損なわない程度に、体育館の一部を区画して投票所を開設する。
- ・いずれも不可能な場合は、投票所を変更する。この場合に、市民への周知が必要となる。

以上を念頭に入れ、協議した結果・・・

a 59投票会場のうち、施設を変更した投票会場は4箇所

- | | | |
|-----------|--------------|---------|
| ・第 2 投票所 | 柏崎小学校 | ふるさと人物館 |
| ・第 10 投票所 | 半田コミュニティセンター | 半田小学校 |
| ・第 19 投票所 | 田尻コミュニティセンター | 田尻小学校 |
| ・第 20 投票所 | 高田コミュニティセンター | 南中学校 |

b 体育館以外の部屋等に変更をした投票会場は15箇所

- ・小中学校について、教室に変更をした投票会場が8箇所
- ・コミュニティセンター、集会場等の2階の部屋に変更をした投票所が7箇所

c 体育館をパーティション等で区切り投票所とした投票所は6箇所

近隣施設に、投票所として利用できる施設がなかったことから、避難所となっている体育館をパーティションで区切り投票所を設置した。

投票所としてのスペースについては、できるだけコンパクトにし、また、投票に来られた方から避難所ブースが見えないようにパーティションを設置した。

d 他に、投票会場は変更とならなかったが、会場の入口その周辺に段差が生じたことから土砂入れ作業を要する投票所や救援物資等の搬入作業を行っている投票所が数箇所見受けられた。

参考；避難所の状況

7月27日現在の、避難所開設状況

避難所設置数 61箇所（最大時82箇所）

非難者数 1,601人（最大時11,410人）

参考

平成19年7月29日執行
参議院議員通常選挙

投票所一覧表

19.7.28現在

投票区名	投票所を設けた場所	投票所設営場所	避難所状況
第1投票区	中央地区コミュニティセンター		
第2投票区	柏崎小学校 柏崎ふるさと人物館	エントランスホール	
第3投票区	柏崎市役所		
第4投票区	北園町公営住宅集会所		
第5投票区	第二中学校	(体育館危険)小会議室	33
第6投票区	比角コミュニティセンター	体育館の一部を使用	48
第7投票区	大洲小学校	五十嵐記念館	
第8投票区	剣野小学校	体育館	
第9投票区	枇杷島コミュニティセンター	体育館	
第10投票区	半田コミセン 半田小学校	教室	25
第11投票区	鯨波コミュニティセンター	2階和室使用	38
第12投票区	上米山コミュニティセンター	1階和室	
第13投票区	楨原小学校	教室	20
第14投票区	日吉小学校	教室(体育館危険)	
第15投票区	荒浜コミュニティセンター	体育館の一部を使用	35
第16投票区	松波コミュニティセンター	体育館の一部を使用	38
第17投票区	北鯖石コミュニティセンター		
第18投票区	安田保育園		
第19投票区	田尻コミセン 田尻小学校	児童玄関	18
第20投票区	高田コミセン 南中学校	体育館	
第21投票区	中通コミュニティセンター	図書室	54
第22投票区	吉井体育館		
第23投票区	中通コミュニティセンター-東部活動の場		
第24投票区	米山コミュニティセンター	2階和室使用	30
第25投票区	笠島ふれあいセンター		
第26投票区	青海川集落開発センター		
第27投票区	宮川コミュニティセンター	体育館の一部を使用	25
第28投票区	椎谷コミュニティセンター	体育館	1階和室16
第29投票区	上条コミュニティセンター		
第30投票区	中鯖石保育園		
第31投票区	南鯖石コミュニティセンター		
第32投票区	別俣コミュニティセンター		
第33投票区	野田保育園		

平成19年7月29日執行
参議院議員通常選挙

投票所一覧表

投票区名	投票所を設けた場所	投票所設営場所	避難所状況
第34投票区	綾子舞会館		
第35投票区	清水谷集会所		
第36投票区	北条南小学校		
第37投票区	北条コミュニティセンター	体育館	2階和室 8
第38投票区	北条北小学校	体育館	
第39投票区	上輪会館		
第40投票区	岡田集落センター		
第41投票区	岡野町集落センター		
第42投票区	高尾集落センター		
第43投票区	坪野集落センター		
第44投票区	漆島集落センター		
第45投票区	荻ノ島集落センター		
第46投票区	門出集落センター		
第47投票区	栃ヶ原集落センター		
第48投票区	山中集落センター		
第49投票区	塩沢集落センター		
第50投票区	高柳町石黒地域活動拠点施設		
第51投票区	田代集落センター		
第52投票区	石地コミュニティセンター	体育館の一部を使用	6
第53投票区	浜忠集落開発センター		
第54投票区	二田小学校	教室	60
第55投票区	南部コミュニティセンター	体育館の一部を使用	71
第56投票区	坂田事務所	2階和室使用（炊出施設）	
第57投票区	西山町事務所		
第58投票区	内郷小学校	児童玄関ロビー	17
第59投票区	別山コミュニティセンター	研修室	43
			避難所 18
	投票所の変更 4か所		
	避難所との競合対策		
	体育館の一部使用 6か所		
	その他教室等使用 15か所		
	変更なし 2か所		

(ウ) 変更となった投票所の周知について

4 箇所の投票会場の変更を、地域の人に周知をすることとした。

対象は、4 投票区で 14,937 人となり有権者の 19.3% に相当する数となった。

周知方法は、

- a 「広報かしわざき」の発送に併せ、対象世帯への変更のチラシを配布した。
- b 該当地区内の避難所に配布するとともに、掲示板に掲載した。
- c 変更前の投票所に「投票所の変更」の張り紙をした。
- d 防災行政無線及び FM ピッカラ (FM コミュニティ放送) で周知をした。

特に、FM ピッカラは、災害時における利用が市民に定着しており、情報の伝達効果は大きく、24 時間体制で市民への継続的な呼びかけ (放送) が可能である。また、長文も可能なことから防災無線と併せて活用したため効果が大きかったと思われる。

参考 ; H20.3 の災害時行動調査より抜粋

市民アンケート「情報の入手経路」

- | | | |
|-----|-------|-----------------|
| 1 位 | 87.9% | 市からの放送 (防災行政無線) |
| 2 位 | 40.2% | テレビ |
| 3 位 | 38.8% | FM ピッカラ |
| 4 位 | 32.0% | 新聞 |

(エ) 入場券紛失者への対応

投票所の変更に合わせて、新たな入場券を発行すべきところであったが、他の投票所においても入場券の紛失が多いことから、次のとおりとした。

投票所が変更となった投票区

入場券の再発行は行わず、投票所変更前の入場券をそのまま利用することとした。

家屋等の被災により、入場券の紛失が多いと判断、投票日当日に、投票会場で入場券の再発行を行うこととし、防災行政無線、FM ピッカラ、マスコミ取材等を通じて知らせることとした。

なお、投票所での入場券再発行分を通常の 5 ~ 6 倍程度増配し準備することとした。

(オ) 開票会場の協議

柏崎市総合体育館の指定管理者及び管理委託業者と協議を行ったが、安全面及び使用の形態 (照度等の確保など) に責任が持てないことから使用について不許可となった。

しかし、開票所については代替施設がないことから、再度翌日 17 日に現場確認をし、安全対策上メインアリーナの全てを利用するのではなく、一部を区画使用すること、使用中に事故が発生した場合は選挙管理委員会が全責任を持つことで何とか了解を得ることができた。

開票会場については、何とか目処が立ったことから、施設までの復旧・対応等については、次のとおりとした。

総合体育館への進入道路には、亀裂、湾曲などによる交通障害が数箇所発生していることから、所管課に緊急応急工事を依頼。

総合体育館の駐車場については、全国から来ていただいた応援部隊の駐車場となり、新潟県及び自衛隊の災害緊急用ヘリポートの指定を受けていることから、開票時間帯だけ空けてもらえるよう協議・調整を行った。

各投票所から総合体育館までの投票箱搬送経路については、道路網が寸断され、迂回路を利用せざるをえない状況が見込まれることから、経路については、各投票管理者に事前に確認をするようお願いをした。

柏崎市内のいたるところで、交通渋滞が慢性的に発生していることから、一時開票時間の繰下げの検討を行ったが、予定どおり実施することとした。

(カ) 投開票事務従事者の確保について

当初、投票事務従事者 380 人、開票事務従事者 300 人を予定していたところ、地震発生に伴い、救急活動や避難所対策、ライフラインの復旧作業にと全職員総出の不眠不休の作業が続く中で、どのセクションでも慢性的な人手不足に陥った。

そのような状況下、普段声をかけない保育士や臨時職員、現業職員等に協力要請をし、それでも足りず、また、確保した後から次々にキャンセルが出たため、いつまでたっても従事者が確定できず心配したが、最終的には対策本部と協議の上、市職員が選挙当日選挙事務で抜けたところを県職員の方々から応援に入ってもらうことで何とか決着し最低限の従事者の確保に目処が付いた。

結果的には、投票事務従事者 359 人、開票事務従事者 269 人と体制は若干縮小されましたが、当日を迎えることができ安心した。

参考

投票事務従事者	380 人	359 人	21 人の減
内訳；	ガス水道局職員	10 人	(ガス水道 4 人、下水道 6 人)
	都市整備課	7 人、	建築住宅課 3 人、その他 1 人
開票事務従事者	300 人	269 人	31 人の減

(キ) 公営のポスター掲示場

参議院議員通常選挙におけるポスター掲示場は、427 箇所ありその大部分が、塀や建物等を利用した設置であった。

塀や建物等が倒壊したことから、地震の翌日 17 日からポスター掲示場の撤去や移設するように依頼があり、その対応に苦慮した。中には、設置委託業者にポスター掲示場の確認を依頼したが、業者は地震対応に追われほとんど動けず対応ができない箇所もあった。

(ク) 選挙の啓発周知について

明るい選挙推進活動として、街頭啓発を計画していたが、全市で被害が発生していること、明るい選挙推進員等も被災していることから中止とした。

街頭啓発の際に配布する予定であった、啓発物資(うちわ)は避難所に配布、猛暑であったため大変喜ばれた。

その他の啓発活動としては、発災直後の 1 週間は自粛したが選挙のお知らせ等の全戸配布及

び各避難所への配布、防災行政無線、FM ピッカラでの投票呼びかけなどを行った。

(ケ) 報道対応

発災直後から全国各地の各種報道機関（TV、ラジオ、新聞、雑誌）が殺到し、朝から晩まで連日20社以上の取材に対応せざるを得なくなり、断ることもできず、多忙を極める中で取材は大変難儀だったが、一方で、情報が伝わりにくい状況の中、市民に伝えたい情報がマスコミを通じて広く周知されていく様子も実感として感じ取れた。

主な取材内容は、投・開票所等の被災状況、入場券紛失者への対応、期日前の投票状況、選挙事務従事者の確保状況などであった。

これら投票に関する様々な質問や疑問も、TVやラジオ、新聞等による報道を通して詳しく紹介されたため、市民からの電話等による照会は思ったほど多くなく、非常事態にもかかわらず投票所等での混乱もほとんどみられなかった。

今回の被災時における報道機関への対応については、次の3点を特に注意し、活用させてもらった。

説明等はできるだけ丁寧に、公平に（ギブアンドテイクの姿勢）

言葉だけではなく、できるだけ文書でお知らせし内容等について間違っ
て受け取られないように

情報発信としては、災害対策本部と選挙管理委員会の2箇所となることから、対策本部との連携を密にし、発表内容にずれが生じないようにする。

(3) 投・開票状況について

ア 各種投票状況について

(ア) 期日前投票について

期日前投票制度は、平成15年12月1日から設けられているため、比較対象が少なく前回の平成16年及び今回(平成22年)と比較をすることとした。

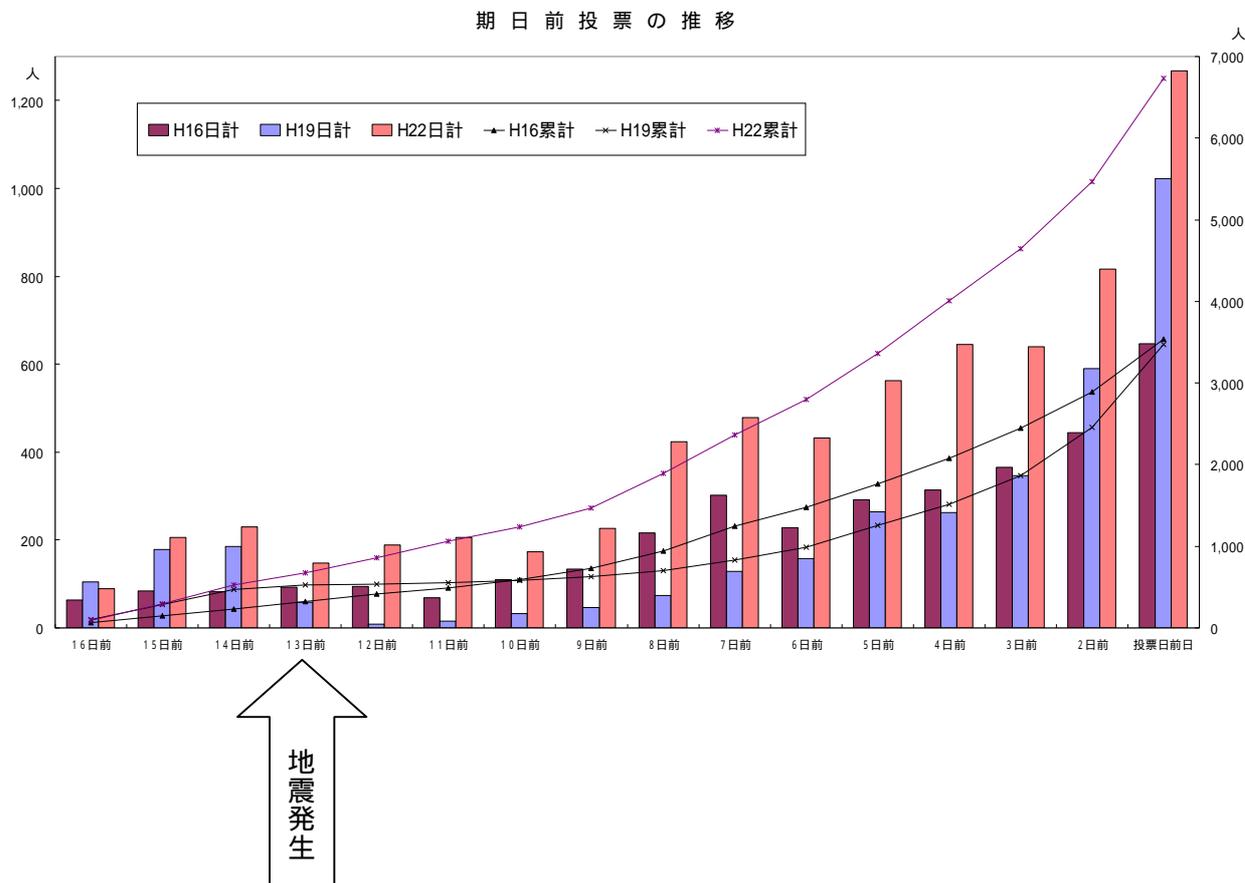
	平成16年7月11日執行					平成19年7月29日執行					平成22年7月11日執行				
	月日	男	女	計	累計	月日	男	女	計	累計	月日	男	女	計	累計
期日前投票	6/25	41	23	64	64	7/13	59	45	104	104	6/25	58	31	89	89
	6/26	56	28	84	148	7/14	90	89	179	283	6/26	128	77	205	294
	6/27	49	34	83	231	7/15	100	85	185	468	6/27	128	101	229	523
	6/28	45	47	92	323	7/16	31	27	58	526	6/28	91	57	148	671
	6/29	62	32	94	417	7/17	8		8	534	6/29	107	81	188	859
	6/30	40	28	68	485	7/18	7	9	16	550	6/30	111	95	206	1,065
	7/1	53	56	109	594	7/19	19	14	33	583	7/1	88	86	174	1,239
	7/2	79	55	134	728	7/20	28	19	47	630	7/2	101	125	226	1,465
	7/3	121	95	216	944	7/21	36	38	74	704	7/3	228	196	424	1,889
	7/4	162	139	301	1,245	7/22	72	57	129	833	7/4	254	224	478	2,367
	7/5	123	105	228	1,473	7/23	90	67	157	990	7/5	241	192	433	2,800
	7/6	137	154	291	1,764	7/24	157	107	264	1,254	7/6	273	290	563	3,363
	7/7	163	151	314	2,078	7/25	146	117	263	1,517	7/7	308	337	645	4,008
	7/8	187	179	366	2,444	7/26	188	159	347	1,864	7/8	308	331	639	4,647
	7/9	228	217	445	2,889	7/27	309	281	590	2,454	7/9	376	441	817	5,464
	7/10	321	326	647	3,536	7/28	529	493	1,022	3,476	7/10	611	656	1,267	6,731
合計	1,867	1,669	3,536		合計	1,869	1,607	3,476		合計	3,411	3,320	6,731		
不在者投票	6/25			0	0	7/13			0	0	6/25	0	0	0	0
	6/26			0	0	7/14		2	2	2	6/26	0	0	0	0
	6/27	2	2	4	4	7/15	4	1	5	7	6/27	3	1	4	4
	6/28	2	1	3	7	7/16	2	1	3	10	6/28	2	0	2	6
	6/29	2	2	4	11	7/17	1		1	11	6/29	3	1	4	10
	6/30	1	2	3	14	7/18	1	1	2	13	6/30	1	0	1	11
	7/1	6	12	18	32	7/19	3	0	3	16	7/1	3	9	12	23
	7/2	7	1	8	40	7/20	3	1	4	20	7/2	36	27	63	86
	7/3	1		1	41	7/21	1		1	21	7/3	1	0	1	87
	7/4	3	1	4	45	7/22	2	1	3	24	7/4	1	3	4	91
	7/5	4	1	5	50	7/23	2	1	3	27	7/5	4	15	19	110
	7/6	99	85	184	234	7/24	20	13	33	60	7/6	52	60	112	222
	7/7	17	17	34	268	7/25	81	63	144	204	7/7	25	33	58	280
	7/8	68	71	139	407	7/26	71	61	132	336	7/8	80	51	131	411
	7/9	23	25	48	455	7/27	66	65	131	467	7/9	54	32	86	497
	7/10	2	1	3	458	7/28	16	15	31	498	7/10	7	5	12	509
7/11	2		2	460	7/29			0	498	7/11	10	5	15	524	
合計	239	221	460		合計	273	225	498		合計	282	242	524		
(期日前投票+不在者投票)	6/25	41	23	64	64	7/13	59	45	104	104	6/25	58	31	89	89
	6/26	56	28	84	148	7/14	90	91	181	285	6/26	128	77	205	294
	6/27	51	36	87	235	7/15	104	86	190	475	6/27	131	102	233	527
	6/28	47	48	95	330	7/16	33	28	61	536	6/28	93	57	150	677
	6/29	64	34	98	428	7/17	9	0	9	545	6/29	110	82	192	869
	6/30	41	30	71	499	7/18	8	10	18	563	6/30	112	95	207	1,076
	7/1	59	68	127	626	7/19	22	14	36	599	7/1	91	95	186	1,262
	7/2	86	56	142	768	7/20	31	20	51	650	7/2	137	152	289	1,551
	7/3	122	95	217	985	7/21	37	38	75	725	7/3	229	196	425	1,976
	7/4	165	140	305	1,290	7/22	74	58	132	857	7/4	255	227	482	2,458
	7/5	127	106	233	1,523	7/23	92	68	160	1,017	7/5	245	207	452	2,910
	7/6	236	239	475	1,998	7/24	177	120	297	1,314	7/6	325	350	675	3,585
	7/7	180	168	348	2,346	7/25	227	180	407	1,721	7/7	333	370	703	4,288
	7/8	255	250	505	2,851	7/26	259	220	479	2,200	7/8	388	382	770	5,058
	7/9	251	242	493	3,344	7/27	375	346	721	2,921	7/9	430	473	903	5,961
	7/10	323	327	650	3,994	7/28	545	508	1,053	3,974	7/10	618	661	1,279	7,240
7/11	2	0	2	3,996	7/29	0	0	0	3,974	7/11	10	5	15		
合計	2,106	1,890	3,996		合計	2,142	1,832	3,974		合計	3,693	3,562	7,255		

平成19年7月16日午前10時13分 中越沖地震発生

平成19年の参议院議員通常選挙において、期日前投票は制度開始以来8回目を迎え市民に広く周知されていることから平成16年度の選挙より出だしが好調であった。

しかしながら、選挙当日の13日前（中越沖地震発生）に前回を下回る数字となり、2～3日は期日前投票を行う者が極僅かであった。

最終的には、ほぼ前回並みの投票者数まで回復することができた。



一時滞在地で行う不在者投票の発生

当初想定していなかったが、自衛隊本部からの問合せで問題が浮上。

自衛隊員は一定期間で交替することから、できるだけ出発前、帰還後に済ませるようお願いをしたところ、自衛隊本部の協力で最小限の対応で済ませることができた。

参考

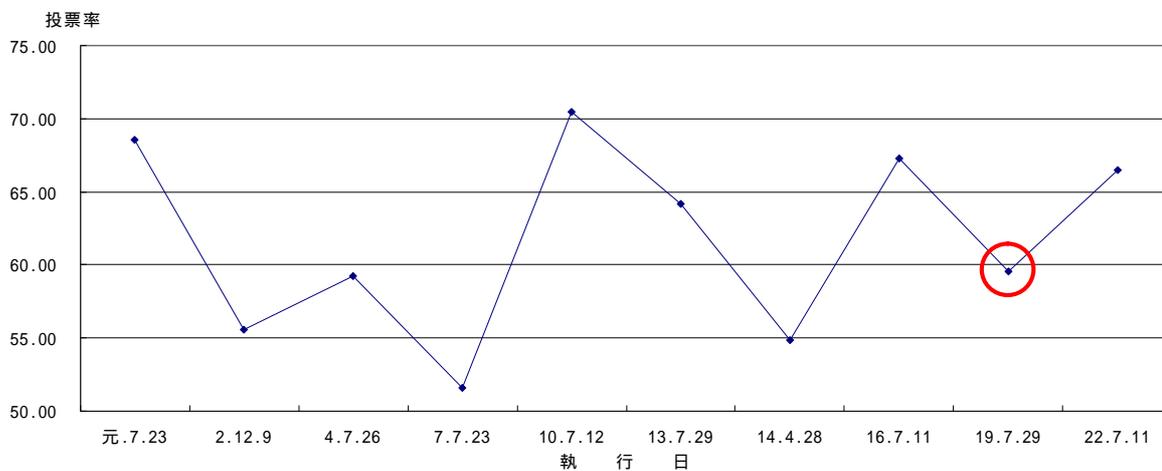
平成16年	40件
平成19年	226件
平成21年	82件

(イ) 投票総数について

a 参議院議員通常選挙の投票者数等の推移については、次のとおりである。

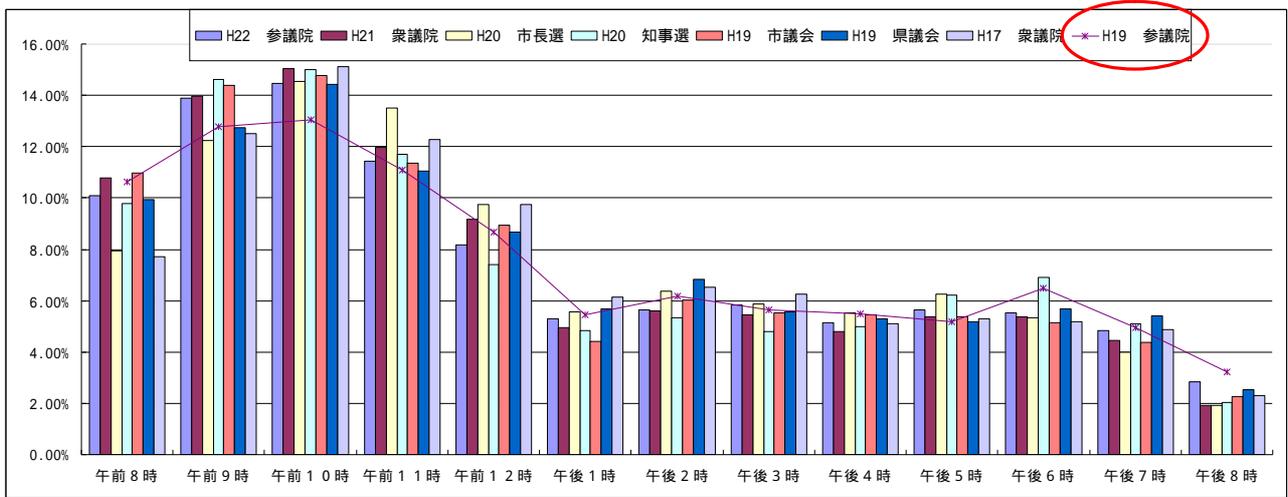
執行年月日	選挙当日の有権者数			投票者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
元. 7.23	31,061	34,226	65,287	21,912	22,836	44,748	70.55	66.72	68.54
2.12. 9	31,205	34,181	65,386	17,648	18,689	36,337	56.56	54.68	55.57
4. 7.26	31,994	34,734	66,728	19,564	19,980	39,544	61.15	57.52	59.26
7. 7.23	33,277	35,523	68,800	17,857	17,622	35,479	53.66	49.61	51.57
10. 7.12	33,720	35,739	69,459	23,940	25,021	48,961	71.00	70.01	70.49
13. 7.29	33,667	35,639	69,306	21,980	22,484	44,464	65.29	63.09	64.16
14. 4.28	33,671	35,677	69,348	18,736	19,305	38,041	55.64	54.11	54.86
16. 7.11	33,570	35,553	69,123	22,830	23,650	46,480	68.01	66.52	67.24
19. 7.29	37,569	39,580	77,149	23,131	22,813	45,944	61.57	57.64	59.55
22. 7.11	37,076	38,883	75,959	25,104	25,393	50,497	67.71	65.31	66.48

参議院議員投票率の推移



平成19年の参議院議員通常選挙の投票率が前年度を下回っている。

b 選挙期日における時間別投票率の比較は、次のとおりである。



投票時間帯については、他の選挙と同じ曲線をしていることから中越沖地震による影響は見受けられない。

イ 開票状況について

(ア) 開票時間等について

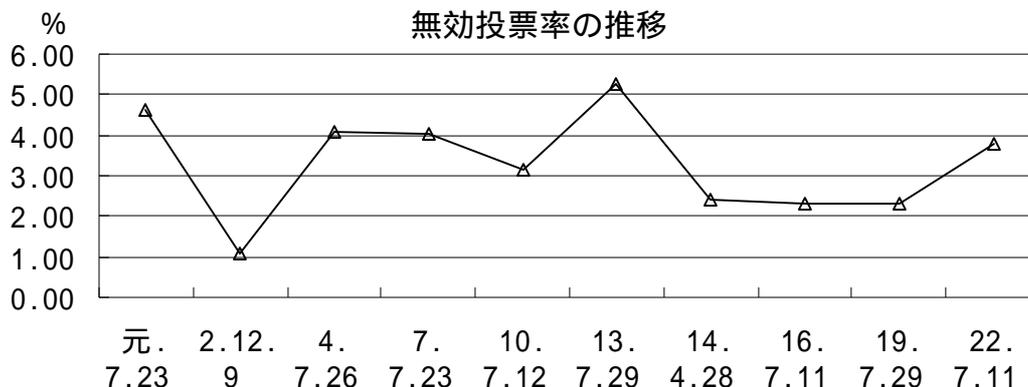
開票にあたっては、通常どおり午後 9 時 15 分の開票開始宣言より作業を開始。

開票作業中に小さな余震もあったが、開票従事者に大きな動揺等はなく無事作業を終えることができた。

なお、閉鎖時刻は選挙区選出が午後 11 時 20 分、比例代表が翌日の午前 1 時 10 分であり、開票時間は今までと大きく差がない状況であった。

(イ) 投票の点検結果

執行年月日	投票総数	有効投票数	無効投票数	無効投票率
元. 7.23	44,748	2,680	2,068	4.62
2.12. 9	36,337	35,952	385	1.06
4. 7.26	39,544	37,940	1,604	4.06
7. 7.23	35,479	34,056	1,423	4.01
10. 7.12	48,959	47,415	1,544	3.15
13. 7.29	44,463	42,133	2,330	5.24
14. 4.28	38,040	37,128	912	2.40
16. 7.11	46,479	45,397	1,082	2.33
19. 7.29	45,943	44,879	1,064	2.32
22. 7.11	50,497	48,557	1,920	3.80



無効投票率については、前回及び前々回並みであった。

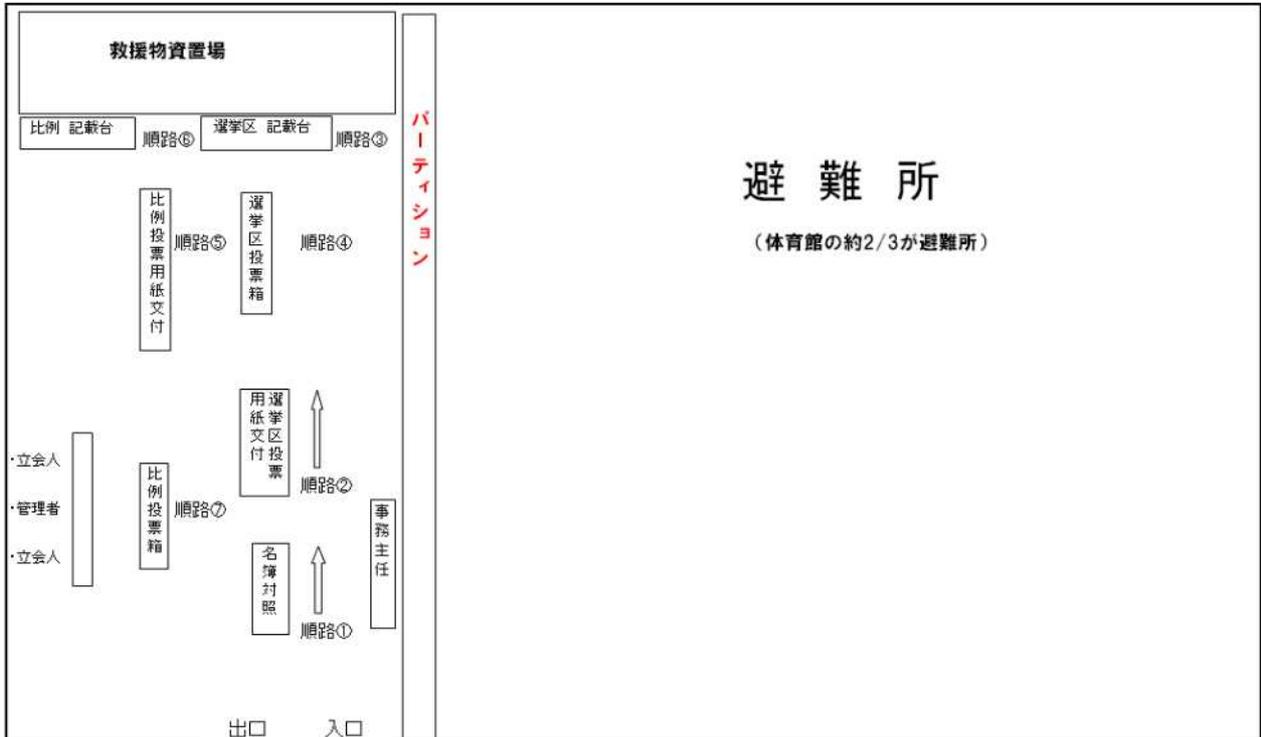
被災の有無にかかわらず、少なからず無効票が発生する傾向にある。

4 参考資料

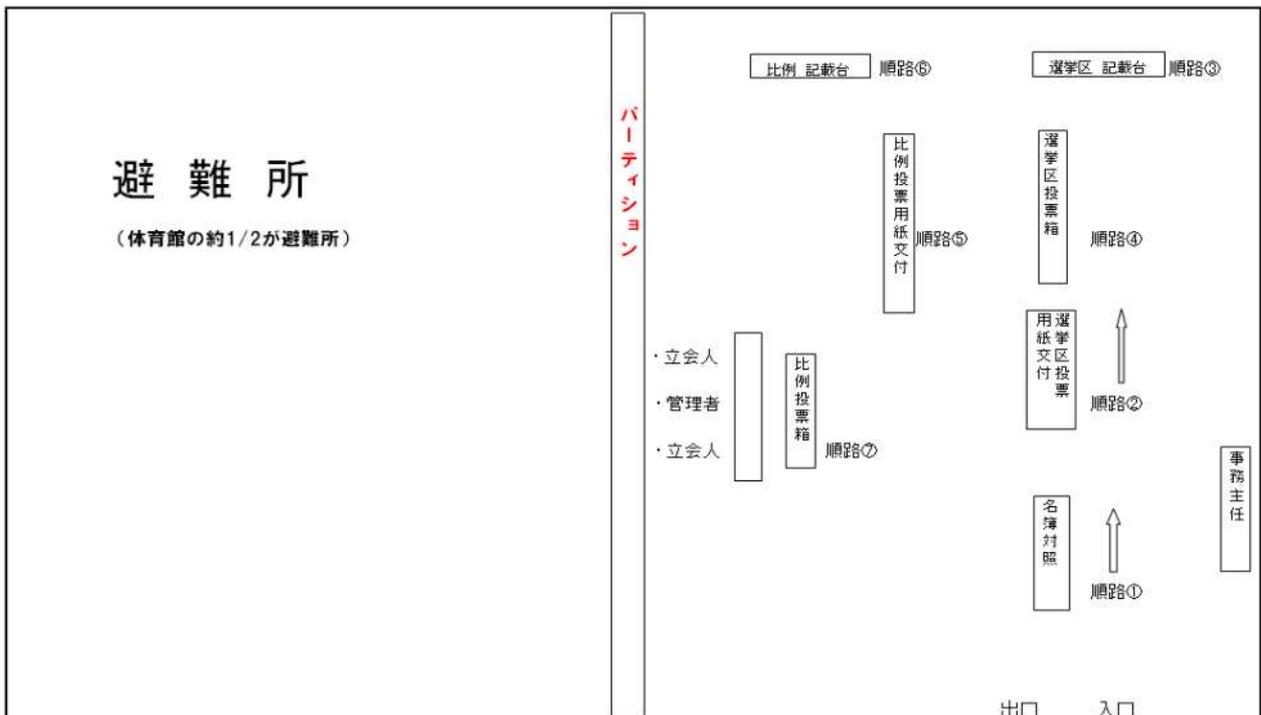
(1) 投票会場のレイアウト

地区コミュニティセンターの体育館が避難所となっていることから、その一部にパーティション等で区切り投票所を設置した。

第6投票区 投票所場所 比角コミュニティセンター体育館



第15投票区 投票所場所 荒浜コミュニティセンター体育館



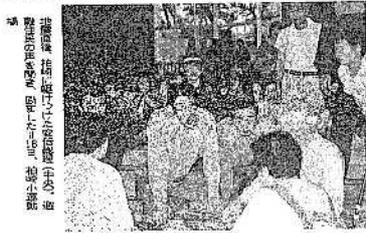
(2) 参議院議員通常選挙事務日程表(その他欄に、災害対応の記載あり)

月日	曜	逆日数	委員会	処 理 事 項	そ の 他
6/25	月	3 4		開票速報オンライン説明会(県)	
26	火	3 3		立候補者説明会(県)	
27	水	3 2		委員会(9:30~ 選挙事務室) ・ポスター掲示場の設置場所 他 ポスター掲示場設置の確認開始(7/4日まで)	(告示) ・ポスター掲示場の設置場所 他
28	木	3 1		二重登録者の確認 投票用紙受領(県に受領書提出) ・枚数確認、投票区別割振り、保管	・投票用紙等枚数確認、配布準備
29	金	3 0		ポスター掲示場設置の確認	
30	土	2 9			
7/ 1	日	2 8			
2	月	2 7		特別不在者投票管理者と打合せ	
3	火	2 6		入場券の発送打ち合わせ等準備	
4	水	2 5		ポスター掲示場設置確認の完了	
5	木	2 4		投票管理者、同職務代理人一覧表作成	
6	金	2 3		関係機関協力依頼	・依頼状の発送(警察署等へ)
7	土	2 2			
8	日	2 1			
9	月	2 0		二重登録者の確認を完了	
10	火	1 9		投票立会人内申期限(正午まで) 名簿・入場券電算出力開始	
11	水	1 8		選挙人名簿基準日・登録日 ・委員会(9:30~ 選挙事務室) ・投票管理者、同職務代理人の選任 他 投票管理者・同職務代理人等委嘱状配布 投票事務従事者委嘱状配布 登録者数県に報告(FAX) 投票立会人選任通知配布(事務主任者経由、承諾書は19日まで) 選挙人名簿収納作業 ・名簿表示作業(失権者、郵便投票者、転出者)	
12	木	1 7		参議院選挙公示日 ・委員会(17:30~ 選挙事務室) ・投票所内等氏名掲示順序くじの執行 個人演説会受付開始 投票所入場券発送	
13	金	1 6		期日前投票開始(選挙区・比例区) 街頭啓発事業計画作成	
14	土	1 5		個人演説会開始(~7/28日まで)	
15	日	1 4			
16	月	1 3		新潟県中越沖地震 午前10時13分発生	10:13 一時避難(約30分) 11:30 期日前投票所、事務室復旧、後片付け、余震~避難路確保、 期日前再開(エレベータ使用不能) 利用者対策、周知文等掲示、亀裂危険箇所:応急修理 12:30 西山、高柳町事務所被害状況(確認) 期日前投票所の閉鎖について問合せ(継続指示・情報収 集:刈羽中止確認) 17:00 西山、高柳町期日前投票所閉鎖決定(県選挙管理委員会へ 報告、2町へ通知) 職員:災害復旧対応 投票立会人等確保困難(被災

月日	曜	逆日数	委員会	処 理 事 項	そ の 他
					者)対象者への連絡指示
17	火	1 2			8:30 期日前投票(本庁)に一本化(2町閉鎖) 市民への周知(防災無線、地域FM、HP、施設張紙等) 期日前投票所(建物被害 通路確保、案内板設置) (エレベータ故障 車椅子対応) 災害対策本部への報告(被害状況、避難所の対応方法) 投票所被害状況等確認作業(所管課、関係施設照会) 10:00 開票所の総合体育館被害状況調査(電気、道路、天井、照明被害) ポスター掲示板被害状況調査 職員避難所応援ほか(毎日2人ローテーション) 15:00 地震災害に伴う投票所の変更について(災害対策本部宛) 個人演説会予定候補者より、全員中止連絡
18	水	1 1			プレス対応(期日前投票、投票所等の被災状況、入場券の再交付等) 選挙啓発中止決定(周知) ポスター掲示場倒壊連絡(市対応・設置業者確認依頼)
19	木	1 0		選挙公報県より受領 ⇒ 町内別仕分け作業(シルバー)	投・開票事務従事者(協力依頼)
20	金	9		投票立会人承諾書提出期限(正午まで) 投票用紙折たたみ確認(17:15~ 庁舎内)	9:30~17:00 選挙公報発送準備(町内別梱包:シルバー人材センター) 会場難 市民第一(救援物資、避難所等応援職員集会室) 投・開票事務従事者(協力依頼)
21	土	8		投票所物品の準備開始(互助会館 ~前日まで)	投票所変更のお知らせ(関係町内会の全世帯・避難所) 変更前の投票所には変更の張り紙周知 投票所物品準備開始 投・開票事務従事者(協力依頼)
22	日	7		・委員会(9:30~ 選挙事務室) ・投票立会人の選任、・投票所の場所の変更について 投票所の変更:柏崎小、半田、田尻、高田コミセン(避難者数多数) 街頭啓発中止 選挙公報発送	投票所の場所の変更 ・第2投票区 柏崎小学校 柏崎ふるさと人物館 ・第10投票区 半田コミセン 半田小学校 ・第19投票所 田尻コミセン 田尻小学校 ・第20投票所 高田コミセン 南中学校
23	月	6		投・開票事務打合せ会(14:00~ 市民第1)	
24	火	5			プレス対応(投票所一覧表の作成配布 災害対策本部、報道控室) 投開票事務従事者(名簿確認、部課長協議・調整) 投票所物品搬出(記載台、床マット、車椅子等) 選挙のお知らせ(市内FM、防災無線、柏崎市HP) 投票所の変更
25	水	4			郵便による不在者投票用紙等の請求期限 投票所物品搬出(記載台、交付機、氏名掲示等、車椅子等) 選挙のお知らせ(市内FM、防災無線) 投票所の変更の周知 投開票事務従事者最終調整(部課長協議)
26	木	3	()	開票立会人届出期限 ・委員会(17:30~ 選挙事務室)開票立会人を定めるくじの執行 (10人を超えた場合) 開票立会人決定通知配布、同承諾書受領、同選任通知(開票管理者宛)	5:30 大雨洪水注意報(職員動員) プレス対応(投票所、期日前投票状況) 選挙のお知らせ(市内FM、防災無線) 投票日の周知、入場券の再発行等

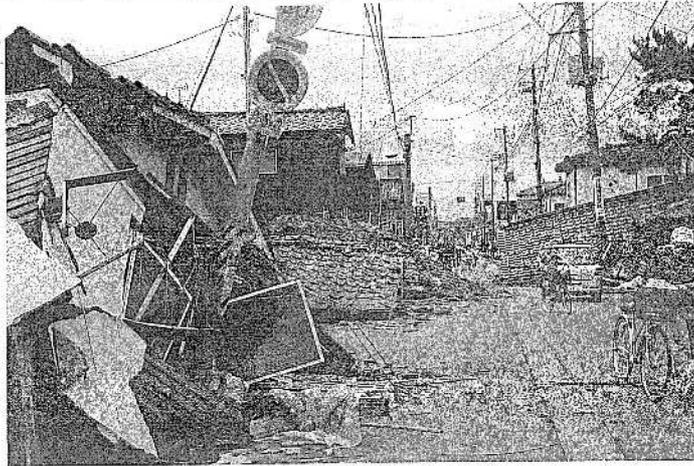
月日	曜	逆日数	委員会	処 理 事 項	そ の 他
					10:00 南部コミセン現地確認(避難所競合:体育館区画使用に決定) 投開票事務従事者確定 投票所380 360確保 20 開票所300 270確保 30
27	金	2		開票所物品準備 投票所が避難所と重なる会場において、避難者のプライバシー保護のため、投票所と避難所の仕切りが必要な6投票所へパーティション搬入 (第6投票区 比角コミセン、第15投票区 荒浜コミセン、第16投票区 松波コミセン、第27投票区 宮川コミセン、第52投票区 石地コミセン 第55投票区 南部コミセン)	プレス対応(投票所・投票場所・期日前投票状況) 災害対策本部報道関係:選挙の準備状況について(資料100部) 6投票所へパーティション搬入(金子リース) 選挙のお知らせ(市内FM、防災無線) 投票日の周知、避難所体育館での投票所使用について 投票場所の変更(第二中学校 児童玄関 小会議室)
28	土	1		・委員会(19:30~ 選挙事務室)⇒ ・転出者抹消、死亡者抹消 投票所準備物品引渡し(12:00~ 、 互助会館) 投票用紙等受渡し(22:00~ 選挙事務室)	プレス対応(期日前・不在者投票結果等) 開票所駐車場(ヘリポートの開放決定) 20:00 期日前投票終了 期日前・不在者投票終了(3,974人 前回3,996人 0.55%)
29	日	0	13:00	投票日 ・投票状況報告(市集計分、県選管報告分) ・開票所準備(10:00~ 総合体育館) ・投票所視察(13:00~ 選挙事務室) 開 票(21:15~ 総合体育館) ・投票者数、開票状況報告(県選管宛)、確定報告(県選管宛)、開票録作成	7:00 投票開始(市内59投票所) 投票所の変更に対する苦情(1件) 20:00 投票終了 投票率の低下(選挙区:59.55% 前回67.24% 7.69%) 21:15 開票開始 交通渋滞で開始遅れも覚悟したが、結果的に影響はなかった。 23:20 選挙区の開票作業終了 25:10 比例代表開票作業終了
30	月	- 1		投票所物品の受領(9:00~ 選挙事務室) 書類整理、保管、物品収納 記載台等回収(~31日まで)	不在者投票事由別集計
31	火	- 2		各種書類等の整理及び保管、 選挙事務室閉鎖 点検結果報検収	点検結果報告提出(県選管持参)

写真トキュメント 中越沖地震

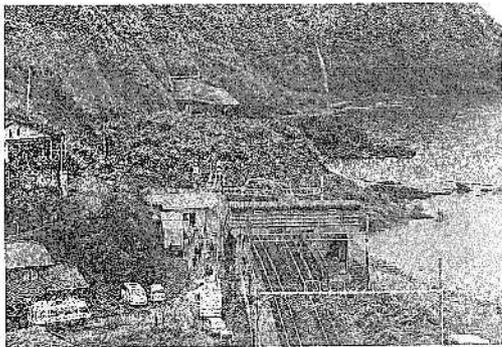


中越沖地震発生後、被災した市街地の様子。16日、柏崎市街地の様子。被災した市街地の様子。16日、柏崎市街地の様子。

住宅をなぎ倒す被害が相次ぎ、市街地も大被害を受けた。16日、被災した市街地の様子。住宅をなぎ倒す被害が相次ぎ、市街地も大被害を受けた。16日、被災した市街地の様子。



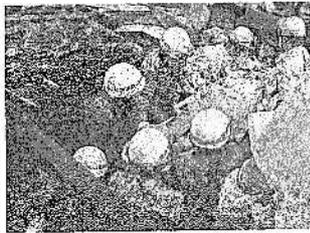
大被害を受けた市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。大被害を受けた市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。



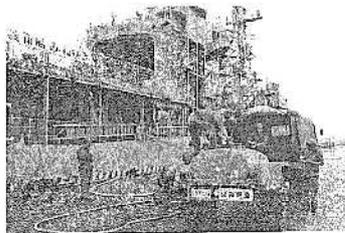
17日、被災した市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。17日、被災した市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。



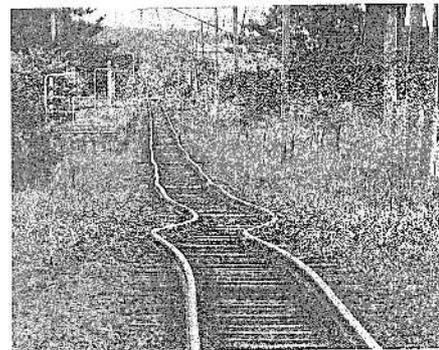
路面が大きく陥没した市内半田2の道路。原因も謎打つ状態となった。16日



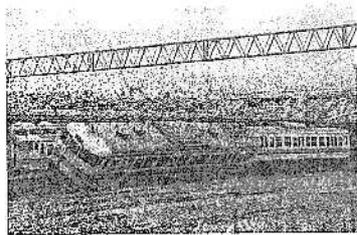
16日、被災した市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。



16日、被災した市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。



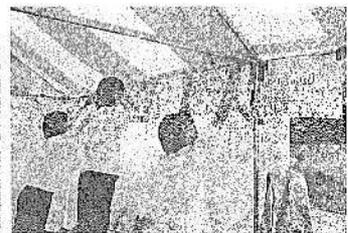
16日、被災した市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。



16日、被災した市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。



16日、被災した市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。



16日、被災した市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。

市内3カ所に
福祉避難所
福祉避難所は、被災した市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。16日、被災した市街地の様子。

投票所 一部利用困難か

参院選 市選管で確認急ぐ

二十九日の参院選投票開票を前に、市選挙管理委員会では、市内投票所施設が使えるかどうかの確認を急いでいる。五十九カ所の投票所のうち、二十一日現在、柏崎小、半田コミュニティ、田尻コミュニティの三カ所は地震の避難者が多く、体育館などを投票所として使うのが

困難。ほかにも新たな避難勧告や住宅の危険度判定で避難者が増えている所もあるという。利用が難しい所は、他の部屋での代替や別施設を検討しなければならず、週明けごろまでに確定させる。開票所の市総合体育館は予定通り使える。また、市明るい選挙推進

協議会が二百に市内八カ所を予定していた参院選投票呼び掛けの街頭啓発は中止した。代わって啓発予定場所にある大型スーパーなどに店内放送での呼び掛けを要請した。市選管の品田真弘事務局

長は「地震で投票率が下がることが心配している。確かに今は生活が大変だが、こういう時こそ日本の将来のことを考えてほしいと訴えていきたい」と話している。

震災で入場券がなくなった場合でも、住所・名前・生年月日を名簿で確認できれば投票は可能。本人確認ができるものがあれば持参してほしいという。なくてはならない。

柏崎日報 7.21

柏崎日報 7.28

参院選 投票開票へ

柏崎・刈羽は震災の中で

第二十一回参院選は二十九日に投票が行われる。新潟選挙区(改選数二)は届け出順に、社民党新人・山本亜希子(31)、自民党新人・塚田一郎(43)と公明党推薦、共産党新人・武田勝利(43)、民主党現職・黒岩宇洋(40)、民主党現職・森裕子(51)と国民新党推薦、無所属新人・檀原光政(64)の六氏が十二日の公示以来、支持を訴えてきた。今月十一日現在の県内選挙

人名簿登録者は百九十九万四千三百十六人。柏崎市は七万七千五百四十八人、刈羽村は四千三百三十一人。柏崎市・刈羽村は中越沖地震で被災した中での投票所となる。市の投票所は五十九カ所だが、施設が避難所に充てられている投票所のうち四カ所を別施設に移す。柏崎小は柏崎ふるさと人物館に、半田コミュニティセンターは半田小に、田尻コミュニティセンターは

は田尻小に、高田コミュニティセンターは南中に変わる。ほかに施設内体育館の一部を使う投票所が六カ所、教室などで代替する投票所が十一カ所ある。村は五カ所の投票所のうち、刈羽地区集会所を刈羽小プレイルームに、勝山地区集会所を同敷地内の倉庫に変更する。

投票時間はほとんどの所が午前七時から午後八時までだが、市内の高柳町石黒地域活動拠点施設と田代集落センターは午後五時まで、中通コミュニティセンター東部活動の場、清水谷集会所と岡田、岡野町、高尾、坪野、漆島、荻ノ島、門出、栃ヶ原、山中、塩沢の各集落センターは午後七時まで。

一方、開票は市が午後九時十五分から総合体育館、刈羽村が九時からラビカで。選挙区はそれぞれ十一時十五分、九時四十五分の作業終了を予定している。市は震災に伴い、投票事務の人員を三百八十人の計画から三百六十人に、開票作業は三百人を二百七十人に減らす、想定の内訳には及んでいない。

あり、十分対応できるとしている。

期日前投票 前回より減 県選挙管理委員会のまとめによると、二十七日現在の参院選期日前投票者数は、柏崎市が二千四百五十四人、刈羽村が九十四人で、二〇〇四年の前回選挙の同時点よりそれぞれ八百五十九人(二・六%)、四十六人(三・三%)少ない。柏崎は出足は好調で、ピーク時で前回の約二倍だったが、地震後三日間は大きく落ち込んだ。その後回復してきたものの、前回の数字には及んでいない。

投票「見通し立たず」

施設不足 職員復旧に追われ

新潟県中越沖地震は、体では選挙管理委員会の参院選の投票票など事務職員も復旧作業に追われ、作業にも大きな影響を与える状態。投票所となる小学校などの施設が被害を受けたり、住民の避難所を確保できなかった。被災した自治



避難所になっており、投票所として使えるか見通しが立っていない小学校。新潟県柏崎市の柏崎小で17日午後6時42分、巨塚本一撮影

となつているケースも多く、投票所の確保も危ぶまれる。「見通しが全く立たない。震源地に近く、最大の被害を受けた柏崎市。市選管の品田真弘・事務局長は、庁内の片付けなどをしながらつぶやいた。16日の地震直後、市内3カ所の期日前投票所をいったん閉鎖。立ち会いなどをする人手が足りないため、17日からは投票所は1カ所のみで再開した。しかし、午後8時に立ち会いが終わると、品田さんら2人の選挙職員も復旧作業を手伝う。20日に投票所として予定していた小学校など50カ所のうち、約30カ所に

住居が避難した。投票所とするには、ついでに仕切つて投票スペースを作る必要がありそうだ。対応できなければ、別の場所にしなければならぬ。品田さんは「投票所を建物の2階にする場合は、車椅子の障害者は職員が2階まで抱き上げると言ふ。品田さんの自宅も被害を受けた。一自宅を片付ける余裕もありませんが、何とか自分たちの手で選挙をやり遂げたい。先が見えない中、歯を食いしばる。震度6強を記録した刈羽村でも、選挙職員が災害対応に追われ、手が足りなくなった。村役場内に設けた期日前投票所の部屋には鍵をかけ、有権者が投票に訪れる度に職員が受け付けることにな

参院選 明日を託す

た。地震発生後、17日夕まで投票に来た人はいないという。また、開票所に予定する文化ホールと投票所となる集会所4カ所には、17日午後2時現在、計約400人が避難する。田中貴裕・村総務課職員は「直後よりも避難者数は減ったが、自宅が被害を受けて帰宅できない人もいます。投票日には、別の場所に移動し

てもらえるかなを検討する」と話した。16日に震度6弱を2回観測した出雲崎町。矢川浩之・町総務課職員は「住民も選挙どころではないだろう」と話した。県選管は「要請があれば、応援を派遣するなど可能な限り対応したい」と話す。総務省選挙課によると、今回の地震で有権者が投票所入場券を紛失しても、投票所で本人確認ができれば、投票は不在者投票ができる。「古閑俊樹、五味香織」

参院選 候補者ら遊説を中止

新潟 3市村、投票所閉鎖

地震は29日に投票票される参院選にも影響を及ぼした。新潟選挙区の候補者たちは16日午後後に予定していた遊説を中止。柏崎市、上越市、刈羽村の期日前投票所は被災が大きい柏崎市に入った候補者も相次いだ。民主現職の森ゆうこ氏は、もともと応援に来る予定だった鳩山由紀夫幹事長や事務所スタッフとともに車で現地入り。水や救急箱、おにぎりなどを持参したという。自民新顔の塚田一郎氏、共産新顔の武田勝利氏も柏崎市に向かった。社民新顔の山本亜希子氏はこの日の遊説活動を中止。いず

れ候補も17日の遊説は中止する予定だという。また、新潟県選管によると、柏崎市、上越市、刈羽村の1カ所は17日以降、状況を見て再開する。柏崎市の3カ所は地震後間もなく再開されたが、うち高柳町事務所と西山町事務所は、17日から当面閉鎖する。このほか燕市内のポスター掲示場が破損する被害があったという。

7.17 朝日

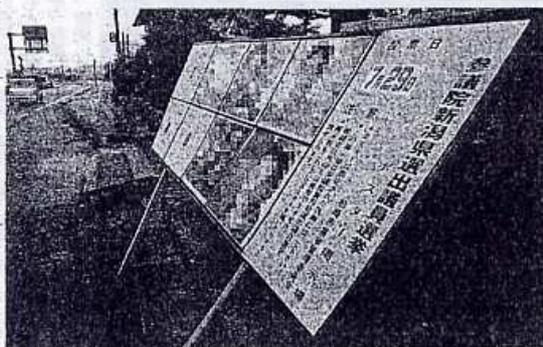
7.18 毎日

投票所が一週間後に迫った参院選で新潟県中越沖地震の被災地にも影響が及んでいる。投票所として予定していた柏崎市内の小学校などが被災者の避難所となり、使えない可能...を託して「票投じたい」と切実な声があがっている。

復興託す一票にも「壁」

7.22 日経

投票所予定の小学校、避難所に

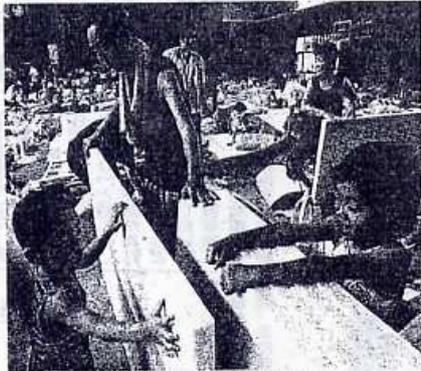


地震で壊れたままの参院選ポスター掲示板 (21日、新潟県柏崎市)

被災地、人繰りも悩み 「生活再建、1日も早く」

●選挙も苦悩
 二千九百人が避難生活が続く柏崎市は、投票所を閉鎖し、別の場所を設ける予定だった小学校など五十九カ所のうち約三十カ所に住民が避難。市選挙管理委員会の一角を占める被災者の声援が、投票所として使えない可能...を託して「票投じたい」と切実な声があがっている。

選挙入場券なくなった



投票所として使われる予定の柏崎小学校の体育館。20日現在約150人が避難している。この日は、東京のNGOが、仕切りや床に敷くために使う板を配った一開口撮影

中越沖地震、参院選にも影響 室内は散乱探せない 投票所は避難所に

新潟県中越沖地震は、20日開票の参院選に大きな影響を及ぼす。被災地では、投票所として使われる予定の小学校や公民館などが被災し、投票所として使えない可能...を託して「票投じたい」と切実な声があがっている。

入場券がダンスの下敷きになって見つからない。家の中には入れない。でも投票には行きたい。と、さういふ声を聞いた。新潟選挙区(新潟県)の被災地である柏崎市内の投票所。被災者の声援が、投票所として使えない可能...を託して「票投じたい」と切実な声があがっている。

柏崎市内では、被災者の声援が、投票所として使えない可能...を託して「票投じたい」と切実な声があがっている。

7.21 朝日

7.24 毎日

柏崎

三FM局奮闘

身近な情報を24時間発信



F.M.ヒッコリーのパーソナリティー・高橋英梨
きんしほ市東本町で、長谷川新吾撮影

柏崎市のコミュニティFM「F.M.ヒッコリー」(大矢良太郎社長)が、中越沖地震の直後から24時間要請で放送を続けている。95年1月の阪神大震災を受け、市の企業有志や市民会館が「自然災害や原発事故に対応できる情報の発信拠点をつくる」と考え、のがさっかけて開局した。スタッフは「被災者のためになる情報を伝えていきたい」と日夜奮闘している。

今日の地震で、事務所前の机や棚の資料が散乱している。今回の地震で、事務所前の机や棚の資料が散乱している。今回の地震で、事務所前の机や棚の資料が散乱している。

たり、放送機材が倒れた状態を伝え、どこのスピーカーから出ていたのかと聞き取っている。被災者も、この放送を聞いて、身近な情報を得ている。今回の地震で、事務所前の机や棚の資料が散乱している。今回の地震で、事務所前の机や棚の資料が散乱している。

参院選 柏崎市、投票所を一部変更

29日投票の参院選、548人のうち、1万4千人が対象になる。変更されるのは、柏崎の小学校が柏崎ふるさと入法めた。当初予定していた場所が中越沖地震に伴う避難所になったため、変更された。変更されるのは、柏崎の小学校が柏崎ふるさと入法めた。当初予定していた場所が中越沖地震に伴う避難所になったため、変更された。

7.25 朝日

コミュニティセンターが南中校(3480人)に投票時間の変更はないという。市選管はすでに各町内会を通じてチラシを各戸配布し、ローカルFM「ヒッコリー」の放送を通じても周知を試みている。当初予定の投票所に張り紙を張り、防災無線で放送したり、問い合わせは市選管(0257-2335111)へ。

7.24 新潟日報

参院選 期日前投票5割増 10日間で400万人

総務省は13日、参院期日前投票者は七百七十七万七千人の伸びに達したと発表した。これは、期日前投票の伸びが5割増の10日間で400万人に達した。総務省は13日、参院期日前投票者は七百七十七万七千人の伸びに達したと発表した。これは、期日前投票の伸びが5割増の10日間で400万人に達した。

本県も 50%増

本県も50%増。期日前投票者は、前年比で50%増の10日間で400万人に達した。本県も50%増。期日前投票者は、前年比で50%増の10日間で400万人に達した。

被災地 投票所が避難所

場所変更など 入場券紛失 口頭確認で許可



参院選

被災した有権者からは「当面は、市選は、近づくにつれて、被災後は前の生活で精いっぱい。選挙人の過半数を確保するの7割程度、市選は被災地でも精いっぱい」との声も。柏崎市では、投票所が避難所として許可されている。投票所は、被災地の被災者から、入場券紛失、口頭確認で許可されている。投票所は、被災地の被災者から、入場券紛失、口頭確認で許可されている。投票所は、被災地の被災者から、入場券紛失、口頭確認で許可されている。



29日の参院選の投票を控え、対応に追われる柏崎市選挙管理委員会の事務局(25日午後)一本間光太郎撮影

15避難所で投票へ

参院選 柏崎市が緊急対応策

7.28 毎日

参院選の投票日直前、柏崎市は27日、投票所に予定していた施設のうち、新潟県中越沖地震で大きな被害を受けた同県19カ所が避難所となつて、避難所内に高さを約1・8倍のついた投票用紙を並べて投票スペースを作るなどの緊急対応策を決めた。28日、職員約360人が作業を始める。市選管によると、避難

7.26 読売

7.29 日経



新潟県中越沖地震の避難所での様子(28日午後、新潟県柏崎市) 所の設置作業

柏崎の避難所に投票所

新潟県中越沖地震の被災者を分ける白い仕切り板を設け、投票箱や机など女性職員(3)は避難してきた高齢者が多く、明日も仕事なので投票を済ませました」と話す。一方、投票をあきらめた市民も、輸入雑貨店を営む高橋佳未さん(25)は「地震で商品のほとんどが壊れたため閉店を決めた。一日でも早く店を開きたいので参院選どころか、市役所第一分館の期日すらではない」と疲れ切った様子だった。

無職男性(68)は「明日は家の片づけに専念し、夜は二週間ぶりにゆっく

りしたい。老人ホームの女性職員(3)は避難してきた高齢者が多く、明日も仕事なので投票を済ませました」と話す。一方、投票をあきらめた市民も、輸入雑貨店を営む高橋佳未さん(25)は「地震で商品のほとんどが壊れたため閉店を決めた。一日でも早く店を開きたいので参院選どころか、市役所第一分館の期日すらではない」と疲れ切った様子だった。

「災害時における選挙管理執行」 実態調査 調査表

(柏崎市選挙管理委員会様分)

鳥 取 県 選 挙 管 理 委 員 会

〔 質問項目については、特段のことわりのあるものを除き、
昨年7月29日執行の参議院議員通常選挙についてお答えください。 〕

第1 市選管事務局等の体制について

1 現在（通常時）の市選管事務局の組織体制

区 分	人 数	備 考
委 員 数	4 人	
職 員 数	専任職員	人
	兼任職員	7 人
	計	7 人
そ の 他	9 人	2 町事務所総務課職員併任

2 災害発生時の市選管事務局内の体制

(体制)

係 名	合 計	選 管	パ ー ト	心 援	監 査	2 町
総 務 係	3	3				
庶 務 係	4			3	1	
期日前・不在者 投票・名簿係	11		5	5	1	
公 営 係	2			2		
小 計	20	3	5	10	2	
高柳期日前投票所	5		1			4
西山期日前投票所	6		1			5
合 計	31	3	7	10	2	9

(問題点、苦慮された点等)

選挙事務室に他の部署から応援職員のうち、ライフラインの復旧などにかかわる職員は所属部署への復帰を行った。

その他、それぞれの担当で自宅に大きな被害を受けた者もいたが、選挙事務の継続によって大変な負担をかけた。

選挙事務室は、手薄の状態であったが、選挙事務に限らずどの部署でも災害対応に追われ同じ状況にあった。

3 災害発生日以後、市選管事務局職員（委員含む）間の連絡の有無及び事務局の体制

特別な体制を設けたかどうかも含め、ご記入ください。

(連絡の有無、体制等)

選管委員及び2町事務所の期日前投票所と連絡をとった。

(問題点、苦慮された点等)

電話回線に支障はなく、連絡が取れない事態ではなかった。

選管職員は、期日前投票中であり、ほぼ全員が出勤していた。

4 災害発生日以後、期日前投票所の投票管理者、職務代理者、立会人、事務従事者等の確保 苦慮された点等、ご記入ください。

(工夫点、問題点、苦慮された点、反省点等)

期日前投票所の投票管理者・立会人、事務従事者は変更なく、特に支障はなかった。

2町事務所の期日前投票所は、地震発生の翌日から閉鎖した。

5 投票所の投票管理者、職務代理人、立会人、事務従事者等の確保

苦慮された点等、ご記入ください。

(工夫点、問題点、苦慮された点、反省点等)

各投票所の投票管理者、事務従事者は、市職員が当たっている。

絶対に間違いがあってはならない選挙事務にあつて、投票所で予期せぬ事態が起きた場合、地区の状況などに精通していることや、その場の状況に応じて適切な対応ができる職員の配置は欠かせない。

災害が発生する前では事務従事に協力できた職員が、従事できなくなり配置表は最初から作り直しとなった。各課等に何度も協力要請を行ったが、全国から応援をいただき災害への対応に全力をあげて取り組んでいる中、人員不足により人数を確保することができず、配置表の作成は困難を極めた。

投票所の立会人の確保は、各投票所に配置の事務従事者が担当している。日程では、19日までに選管事務局へ内諾の報告をすることになっていた。各投票所の担当で、地震発生後に再度確認を行い、報告期限には全投票所の立会人の提出を受けた。

6 開票所の開票管理者、職務代理人、立会人、事務従事者の確保

苦慮された点等、ご記入ください。

(工夫点、問題点、苦慮された点、反省点等)

開票管理者は選管委員長が、職務代理人は選管事務局長がそれぞれあつた。

立会人は既に立候補者側から3人以上の届出があつた。

事務従事者は、投票事務従事者と同様に人員確保に苦労した。

第2 投開票所施設の管理について

<p>1 災害発生直後の期日前投票所の管理 期日前投票所の閉鎖の有無、システムへの影響の確認等についてご記入ください。</p>		
<p>(期日前投票所の管理の状況)</p> <p>地震発生日までは、3か所の期日前投票所は開いたが、翌日から、2町事務所の期日前投票所は閉鎖した。 システムへの影響はなかった。</p>	<p>(問題点、苦慮された点等)</p> <p>システムを管理している電算センターへ電話照会し、異常なしの報告を得た。 また、端末の操作も行い、動作確認をした。</p>	
<p>2 災害による投開票所施設の被害状況の確認 被害状況の確認の手段及びそのタイミング等をご記入ください。</p>		
<p>(被害状況の確認手段、タイミング)</p> <p>地震発生当日は混乱していることと、祝日であったため、翌日から確認を行った。 全投票所の管理者などに電話で状況を把握した。 その後、避難所となった施設と、被害状況が大きい施設はすべて現場に向いて管理者などと協議するとともに状況の把握を行った。 刻々と被害情報などが入る毎に、施設に向いた。</p>	<p>(問題点、苦慮された点等)</p> <p>地震の発生により、予定していた体育館などのスペースが物理的に使用できない場合と、避難所などの災害対応によって使用できない場合があった。 同一施設内の他の場所にスペースが確保できる場合は、2階も含めてその施設内の他の場所に設置した。 スペースが見当たらないため、避難所として使用中の体育館の一部をパーティションで区画して設置したところもあった。 4か所の投票所では、スペースの確保ができないため他の施設に変更した。</p>	
<p>3 投開票所施設の被害状況</p>		
<p>(設置数、被害の状況等)</p> <p>期日前投票所 3か所 本庁：エレベータが使用不能。施設入口の側溝からスロープ、玄関までの通路に被害を受けコンクリートに亀裂や段差が生じた。 2町：施設への被害は軽微。</p>	<p>(うち使用不可施設数)</p> <p>2町：施設への被害は軽微でそのための使用不可ではなかったが、人員の確保、災害対策物資の搬送等によるスペースの確保など災害対応のため、設置が困難な状況となった。</p>	<p>(左記の代替施設確保数)</p> <p>2町：7月17日以降は閉鎖した。</p>

<p>投票所 59投票区 予定していた体育館が使用不可の施設もあったが、建物全体が倒壊等のため使用できないところはなかった。 その他、天井や床などに被害をうけた施設があったが使用可能であった。 また、被災者の避難所として使用のため使用できないところがあった。</p>	<p>避難所に使用のため使用不可となった施設4か所。</p>	<p>4か所。</p>
<p>開票所 1か所 開票所（総合体育館のメインアリーナ）では、天井のフレーム・照明器具、窓ガラスなどに被害があった。 また、周辺道路に陥没、亀裂が生じた。</p>	<p>施設は被害を受けたが、電源の確保や開票作業スペースを確保することができることから、当初予定どおりに使用した。</p>	<p>代替施設はない</p>
<p>4 投開票所が使用可能か否かの判断基準 投開票所が使用可能かどうかの判断の基準、苦慮された点等についてご記入ください。</p>		
<p>被害の程度によるが、有権者等の安全が全く確保できない状況でない限り、危険な部分を除いて使用が可能である限り、また、スペースが確保できる限り施設を使用することとした。 開設に当っては施設側の理解が必要なため、施設管理者等と協議を行った。</p>		
<p>5 投開票所の設置に係る検討事項</p>		
<p>投開票所の設置を検討するにあたって、工夫された点、苦慮された点等、ご記入ください。（避難住民との隔離、身体障害者対策等）</p>		
<p>（工夫された点、苦慮された点、反省点等）</p> <p>選挙事務担当者のみで投票所運営ができる状況でなく、避難されている住民や施設の担当者の理解、協力を得て設置した。 パーティションで仕切る場合、避難されている方へのプライバシーの確保や出入り口の工夫、2階に設置したところでは、人力による車椅子の上げ下ろしなど。 開票所では、建物被害により参観人席に制限が必要だったが、スペースの不足はなかった。</p>		
<p>6 その他、投開票所施設の管理における工夫点、反省点等</p>		
<p>災害の発生後、投開票まで約2週間の期間があったため上記の対応をとったが、十分な対応へは限界があった。 発生の時期や規模、災害の種類などによって、対応は大きく変わると思われる。</p>		

第3 選挙の管理執行全般について

1 複数の期日前投票所間の連携

二重投票防止のための投票所間の連携の状況、問題点、苦慮された点等についてご記入ください。

3か所開設している期日前投票所の投票状況はオンライン管理している。当市の有権者はどの期日前投票所でも投票することができる。投票状況はすべての端末に反映し、二重投票を防止している。

今回の地震では、オンラインシステムにダメージがなく問題は生じなかった。

2 指定施設における不在者投票及び郵便投票の管理

円滑に執行できたか、あるいは留意された点等についてご記入ください。

特になし。

3 入場券の配布・管理

入場券の配布をめぐるトラブル、入場券紛失者への対応等についてご記入ください。

入場券は、7月12日に発送した。

投票所入場券をなくしても本人確認で投票できる旨、行政防災無線で呼びかけとコミュニティFM放送(FMピッカラ)においても繰返しの放送があった。

紛失者からの電話等による照会は、それほどの増加はなかった。

4 選挙公報の配布・管理

選挙公報の配布の手段、苦慮された点等についてご記入ください。

選挙公報は、町内会組織を通じて7月22日に全世帯配布を行った。

しかし、被害にあって避難中の住民へは配布することができなかった。

また、各避難所に配布するにあたり、事前の希望部数では不足のため、急きょ県選管に追加依頼して間に合わせた。

5 ポスター掲示場の管理

ポスター掲示場の被害状況の確認、撤去、再設置等、苦慮された点等についてご記入ください。

設置業者に連絡をして確認をお願いした。

撤去については特に問題はなかった。

再設置はしなかった。

設置撤去を委託した業者も災害対応に追われ動ける状態でなかった。

結果的には、設置場所の管理者などからの連絡があったところのみ、回収することで精一杯であった。

6 その他、管理執行面において、良かった点、問題点、反省点等

この度の地震では偶然であったかもしれないが、期日前投票管理者や同立会人も含めて、選挙事務従事者等に人身事故はなかった。

また、期日前投票所内のすべてのロッカー・ついたて・机が倒れ、書類が散乱し投票記載台も破損したが、投票箱に被害はなかった。

その他、選挙物品保管のスチール棚が倒れ、各投票所に搬送する投票箱や記載台の破損を心配したが問題なく使用できた。

読み取り機・係数機・投票用紙交付機に被害はなかった。

第4 県選管との連携等について

1 災害発生直後、県選管に対する連絡の有無等

(連絡の有無、内容、方法)

地震発生後、県選管と電話で連絡をした。
現状の報告を行った。

(県選管の対応状況、問題点、苦慮された点等)

非常時にもかかわらず電話回線に支障がなく、現状の報告ができた。

2 災害に起因するものとして、県選管からの助言・指示の有無等

(助言等の有無、内容)

繰延投票について検討したが、結果的に選挙執行が可能である判断をした。

また、県選管から必要な要請があれば連絡をするよう指示をいただいた。

(問題点、苦慮された点等)

常に連絡が取れる状態にあり特に問題はなかった。

3 災害に起因するものとして、県(選管)からの派遣職員の受け入れの実績

(派遣職員の受け入れ実績の有無、職務内容)

投開票事務は市職員で当たったが、そのため、災害関連活動で抜けた部分を県職員の方々から応援をいただいた。

(問題点、苦慮された点等)

問題点等は特になし。

4 災害に起因するものとして、選挙執行経費に関する県選管との協議の有無等

災害対応に係る調整費の協議等の状況についてご記入ください。

(協議の有無・内容)

特になし。

(県選管の対応、問題点、苦慮された点等)

特になし。

5 その他、県選管との連携において、良かった点、問題点、反省点等

一時、FAX回線がつながりにくく、県との連絡に時間がかかる事例もあったが支障が生じるまでにはならなかった。

第5 報道機関との関係について

1 - 1 通常の選挙時、報道機関への対応専門職員の配置の有無

有 ・ 無 該当するほうに を
付けてください。
「有」の場合、具体的な役職
(役職：)

(問題点等)

選挙事務室内で対応していて、通常時は特に問題はありません。

1 - 2 災害発生後、報道機関への対応専門職員の配置の有無

有 ・ 無 該当するほうに を
付けてください。
「有」の場合、具体的な役職
(役職：)

(問題点、苦慮された点等)

選挙に関しては、実質局長が対応した。
人手不足のため、新たな人員配置はできなかった。

2 災害に起因するものとして、市選管としての記者会見等の開催の有無等

(記者会見等の開催の有無、内容、出席者等)

開催はなし
期日前投票の日別実績、投票所の設置状況を
報道機関に提供した。

(問題点、苦慮された点等)

特になし。

3 災害発生後、報道機関からの主な質疑内容

(質疑内容)

投票実施有無に関する問い合わせ
入場券紛失に関しての取扱い

(市の対応状況、問題点、苦慮された点等)

同一内容の質問を、繰返しの対応に苦慮した。

4 災害に起因するものとして、報道提供した資料等

別途、提供資料を添付してください。

期日前投票の日別実績
投票所の設置状況

5 その他、報道機関との関係における工夫点、反省点等

災害対応に追われている中で、人手不足のため新たな人員配置はできなかった。
災害全体の報道対応窓口の情報提供して、できるだけ選挙業務に専念できるような体制をとることが必要と思われる。
市民への周知手段として、報道機関から情報を届けてもらえる面がある。

第6 候補者等との関係について

1 災害発生後、候補者等からの質疑等の状況

(質疑等の有無、内容)

特になし。

(市の対応状況、問題点、苦慮された点等)

特になし。

2 災害発生後、候補者等に対して行った情報提供の有無等

(情報提供の有無、内容)

既に申し出のあった個人演説会場が災害のため使用不可となったところは、その旨の連絡をした。

(問題点、苦慮された点等)

特になし。

3 災害に起因するものとして、選挙運動に関して発生した問題事例等

(問題事例の有無、内容等)

ポスター掲示板の破損。

(市の対応状況、問題点、苦慮された点等)

「第3・5ポスター掲示場の管理」に同じです。

4 その他、候補者等との関係における工夫点、反省点等

特になし。

第7 住民等との関係について

1 災害に起因する、住民からの質疑、苦情等の状況	
(質疑、苦情等の有無、内容)	(市の対応状況、問題点、苦慮された点等)
入場券の紛失等の質問があったが件数は多くなかった。	特になし。
2 災害に起因するものとして、住民に対して行った広報、啓発等の有無等	
(有無、内容)	(効果、問題点、苦慮された点等)
投票場所変更のお知らせを、新旧施設に表示するとともに、該当する世帯に変更のお知らせを配布した。 また、同一施設内で投票所を変更したところでは、案内表示をした。 行政防災無線で、入場券紛失に関する広報を行った。	コミュニティFM放送(FMピッカラ)などの報道機関を通じて、投票所や入場券紛失に関する放送がされ効果があったと思われる。 投票率向上のための広報活動がほとんどできなかった。
3 支援者(ボランティア)の協力申出の状況	
(協力申出の有無、業務内容等)	(市の対応状況、問題点、苦慮された点等)
特になし。	特になし。
4 その他、住民との関係における工夫点、反省点等	
避難所となった施設と投票所との調整において、地区の方々の理解や協力がなければ、一部をパーティションで仕切ったり、2階に投票所を設置したりすることも難しい。 非常事態にあっても協力が得られ選挙事務が行えた。	

第8 市長部局・災害対策本部との連携について

1 災害に起因するものとして、選挙の管理執行上、市長部局（人事担当課、営繕担当課、住民課（住基ネット担当課）等）と調整した事項等	
（調整した事項等） 選挙は日程どおり執行するものの、選挙事務室に他の部署から応援職員で、ライフラインの復旧にかかわる職員の所属部署への復帰を行った。 投開票事務従事者では、人数に不足を生じたため、再度の協力呼びかけを行ったが、十分ではないためやむなく従事者数の削減を行った。 住民記録システムは、障害が生じなかった。 投票所施設のトイレが使用できないところがあり、仮設トイレの手配を依頼した。	（問題点、苦慮された点等） 選挙事務従事者の削減のほか、従事した職員は災害対応で疲労が蓄積している状態であり、単純ミスが発生しやすい状況にあったと思われるが、事務を無事にやり遂げた。
2 選挙の管理執行上、災害対策本部と調整した事項等	
（調整した事項等） 上記のとおりです。	（問題点、苦慮された点等）

第9 その他関係機関（警察等）との連携について

1 災害に起因するものとして、警察との調整、あるいは要請を行った事項等	
（調整・要請事項等） 特になし。	（問題点、苦慮された点等） 特になし。
2 災害に起因するものとして、その他の関係機関と調整した事項 （オンラインシステム業者、電力会社、通信業者、郵政公社、交通機関等）	
（調整した相手方、事項等） 県選管との連絡用回線、投開票所の電力不足などトラブルはなかった。	（問題点、苦慮された点等） 特になし。

第10 その他

- 1 今回、繰延投票の必要性についても検討されたようですが、繰延投票を行うか否かの決定を行う上での判断基準について、お考えをお聞かせください。

選挙期日まで約2週間の期間があったので、選挙当日までの状況判断。
投開票所施設の被害状況や、道路被害など交通状況から選挙の執行が不可能でなかったこと。
避難所などに避難している有権者は多数あったが、投票ができない状況でなかったこと。
選挙システムなどに異常はなく、その他、執行上に重大なダメージがなかったこと。
以上の状況を踏まえて、県選管と検討を行った。

- 2 その他気づかれた点、災害時対応マニュアル等に盛り込むべき点等がございましたら、どのようなことでも結構ですので、ご記入ください。

今回の地震は、期日前投票は既に開始し、選挙期日まで約2週間という時に発生した。
2町事務所の期日前投票所へは滞りなく連絡が取れたが、選挙期日の投票所は箇所数が多く、発生時期や条件によっては被害状況の把握や判断がより困難になると思う。
また、災害発生によって職員は応急対策マニュアルに沿った行動体制をとることとなるが、選挙業務の継続も確保しなければならない。連絡がとれない場合も想定して、各々の投票所がとる行動体制の基準も必要と思う。

ご協力、ありがとうございました。

終わりに

被災下での選挙。今改めて振り返って見ると、先が全く見えない大きな不安の中、無我夢中で目の前の課題を一つひとつ処理してきた。

幸いだったのは地震から投票日まで13日間の余裕があったこと。（繰延投票は回避できると思っていた。）

もし、1週間前だったら果たして対応できただろうか？ そう思うと今更ながら「ぞっと」する、できれば、私どものこうした経験が生かされることのないよう祈るばかりである。

最後に、今回の選挙期間中における各界からの温かいご援助に感謝するとともに、中越沖地震の発生・その対応を通じて感じたことを記述します。

(1) 大混乱状態の中でも決して慌てることはない。

「あれもこれも一度にできない」 目の前の仕事（課題）を黙々と・・・。

先が見えない分不安だったが、結局なるようにしかならない面あり。

限られた時間と労力で緊急度・必要度に応じて処理する。

やらなくても済みそうな仕事はできるだけ省く。事情を説明しでお許しいただく。

一種の開き直りも必要。

(2) 念ずれば通じる。粘り強くお願いの一手。

避難所施設での投票所設置。開票所の確保と周辺整備。投開票事務従事者の確保等、様々な難問も粘り強いお願いの一手で解決。

例外もあった。

・投票 1週間前になって、体育館の間仕切りは避難者のプライバシーが守れない。近くの中学校が空いたからそこに変更して欲しいとの連絡あり。

（広い体育館に避難者20人（当日12人）～スペース十分。片隅利用可能）

（職員には事前の了解あり）

（プライバシーには最大限配慮する。投票日の1日だけお願いしたい）

・必死のお願いも通じず。～館長さんの「中学が空いたから」「避難者の人権が最優先」との一点張りに変更せざるを得なくなった。（変更手続き、関係住民への周知が大変だった）

(3) 異例尽くめの中での投開票事務の執行

全国から注目されている地域。新潟県の全面的支援体制の中での選挙。

絶対間違いがあってはならない。～強いプレッシャーあり。

職員の疲れもピークに達している中での選挙。また不慣れな臨時職員や保育士、現業職員等も総動員しての選挙。

単純ミスの可能性大。 交付誤り防止等に力点をおいて指示を徹底。

職員の頑張りに感謝

(4) ものは考えよう。

マスコミ取材はこちらの考えを市民にも伝えてくれるスポークスマン。取材の先に市民有りの感覚で対応。

(5) 災害時における管理執行上の課題。

- ・ 投・開票所の確保 災害時を想定した代替施設等の事前検討。
- ・ 選挙事務従事者等の確保 例えば災害時における職員OB等の活用。
近隣市町村選管等との協力体制の検討など。
- ・ システムがダウンした場合の対応方法等の確認。

2007中越沖地震・選挙の記録

編集・発行	柏崎市選挙管理委員会
〒945-8511	柏崎市中央町5番50号
	電話 0257(23)5111(代)
	Fax 0257(23)5202